

2019年度友愛労働歴史館事業計画

友愛労働歴史館は2019年度に、Ⅰ展示会・講演会活動、Ⅱ資料の収集・管理作業、調査・研究活動、Ⅲ情報発信・PR活動などに取り組む。

Ⅰ展示会・講演会活動について

1. 展示会（常設展・企画展）活動

①企画展について

2019年1月7日から開催中の企画展「民社党結党60年—勤労国民政党的旗を掲げて—」（2018.1.7～6.28）を、6月28日まで開催する。

7月4日からは企画展「協調会結成100年—その今日的な意義を探る」（2019.7.4～12.24）を開催する。2019年は協調会結成から100年に当たり、友愛会と協調会との関連を中心に解説しつつ、協調会の今日的な意義を模索する。

2020年1月6日からは企画展「日本のメーデー100年」（仮題。2020.1.6～2020.6.30）を開催する。

②常設展について

常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟（戦前）を中心とする」は、必要なメンテナンスを行いつつ、同一テーマで引き続き通年開催する。

2. 講演会活動

友愛労働歴史館は企画展と連動させた講演会・労働講座を単独で、もしくは労使関係研究協会その他の団体と共催している。2019年度は以下の講演会を開催する。

①名 称：友愛労働歴史館講演会

と き：調整中（5～6月中）

と ころ：友愛労働歴史館・研修室

テ ー マ：未定（「民社党60年」展との連動で）

講 師：調整中

②名 称：友愛会創立記念労働講座（友愛会創立を記念する会と共催）

と き：2019年8月1日（火）10：30～11：45

と ころ：友愛労働歴史館・研修室

テ ー マ：未定（「協調会100年」展との連動で）

講 師：未定

③名 称：友愛労働歴史館・労使関係研究協会共催講演会

と き：2019年10月又は11月

と ころ：友愛労働歴史館・研修室

テ ー マ：「協調会と渋沢栄一」（仮題）

講 師：未定（渋沢栄一史料館関係者を予定）

II 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は年間を通し、資料・管理に取り組んでいく。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいく。

1. 資料の収集・管理

友愛労働歴史館は連合資料室、社会・労働関係資料センター連絡協議会（労働資料協）と連携し、①友愛会から同盟までの民主的労働運動、②社会民衆党から民社党までの民主的社会主義運動、③福澤諭吉や安部磯雄らユニテリアンゆかりの社会運動に関する資料の収集・管理に取り組む。

友愛労働歴史館には今まで個人・団体から寄贈を受けた資料が未整理状態にあり、当館倉庫（友愛会館地下1階、同2階）に保存している。通年を通し、これらの資料の整理作業に取り組んでいく。

2. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は、常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」の二つの常設委員会を設置し、調査・研究活動を行っている。2019年度は政治・社会運動史研究会を中心に研究会活動を続けていく。また、井堀繁雄研究会での調査活動に取り組む。

①名 称：第20回政治・社会運動史研究会

と き：2019年5月10日（金）14：00～16：00

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：未定（企画展「民社党60年」を睨みつつ）

講 師：調整中

②名 称：第21回政治・社会運動史研究会

と き：2019年10～11月頃

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：未定（企画展「協調会100年」を睨みつつ）

講 師：未定

③井堀繁雄研究会

井堀繁雄（労働運動家・協同組合活動家・政治家、日本労働会館理事長）が残した手帳のデジタル化作業に取り組み、必要な調査・研究を行う。

III 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館は情報発信・PR活動として、2019年度に以下の取り組みを行う。

①インターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信

②友愛労働歴史館ホームページHPでの情報提供・PR活動

③非公式ツイッター（@yuairekishi1912）の活用によるPR活動

④インターネットのアドレス登録者約1200名を対象とする情報提供、PR活動

IVその他

- ①NPO 法人働く文化ネット（総評会館）の労働映画鑑賞会（毎月1回・第二火曜日）に参加、協力していく。
- ②労働運動・社会運動関連資料のリユースに取り組んでいる労働資料協（社会・労働関係資料センター連絡協議会）の活動に参加していく。
- ③友愛労働歴史館が所蔵する資料を活用し、民主的労働運動や民主社会主義運動、ユニテリアンゆかりの社会運動に関する研究者の調査・研究活動に協力していく。

以上